

クスサンの防除

昨年は、各地でクスサンが発生し、秋には街灯の周りや朝方には壁にとまっている成虫が見られ、大発生と新聞に報道されました。

クスサンは、「シラガタロウ」、「シラガダユウ」ともいわれクリのほかリンゴ、ナシ、ウメ、クルミ、カキ、プラタナス、葉を食べる害虫のほとんどいないイチヨウも食害し、個体数の多いときは木を丸坊主にするほどの被害を与えます。

特に、クリの葉を好んで食害することから「クリケムシ」とも呼ばれており、クリには、恒常的に発生する害虫です。

クリ等の生産者は、薬剤散布等によって被害を少なくしていますが、主として大きく食害されている木は、庭や畑の周囲にあって単木もしくは小面積で十分手入れのされていないところが多く、その被害に気が付くのは、中齢幼虫になり分散して枝の先端から葉を食害し葉脈が残って透けて見えるようになる頃が多く、この時期になると薬剤による防除も難しくなることから、適期に防除が必要となります。

生態

クスサンは、年1回の発生で産卵された状態で越冬し、4月下旬から5月にかけてふ化します。ふ化直後は、葉の裏側に群生し食害していますが、しだいに分散して6月下旬頃までに6回脱皮します。幼虫は齢期によって体色に変化し1～3齢は黒灰色で白い毛がまばらに生え、4齢幼虫は淡緑褐色になり、灰黄色の長い毛が生え体の側面に黄色い線がある。5～7齢（終齢）は、体が黄緑色で背面が青白色となり、全体に白～青白色の長い毛でおおわれることが、「シラガダユウ」、「シラガタロウ」と言われる所以となっています。

7月中旬頃蛹化しますが、繭は褐色楕円形で、葉を綴って独特のカゴ目状にすることから別名スカシダワラとも呼ばれています。

成虫は、9月下旬から10月にかけて羽化しますが、夜行性で、開張13cm程度の大型の蛾で、後翅の中程にある紫白色の眼状の紋が特徴です。

産卵は、おおむね2m以下の幹や分枝した枝の

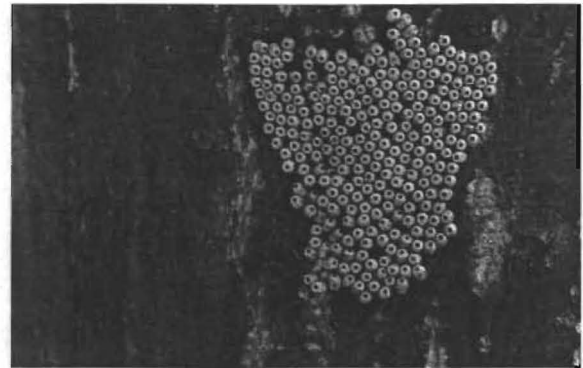


写真-1 クスサンの卵塊

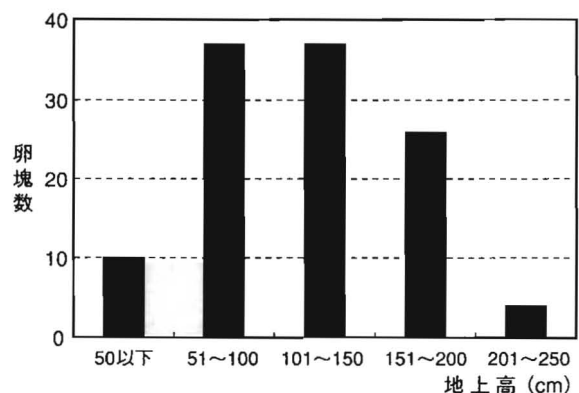


図-1 クスサン産卵位置別卵塊数
調査地：長野県林業総合センター構内

裏側等に塊状に数十個産み付けます（写真-1）（図-1）。

被害形態

幼虫は、葉脈を残して葉を食害し、老熟すると僅かの間に全葉を食べ尽くして、周囲の木にも移動して食害します。

食害を受けた木は、枯損はしないものの衰弱して収穫に影響します。

防除

卵は、冬季に潰すか掻き落して焼却します。産卵される位置はほぼ2m以下ですから、卵塊の掻き落しは金属のヘラ等で容易に可能ですが、掻き落しただけでは効果がないことから、確実に処理する必要があります。

また、潰す場合は卵殻が硬いことから丁寧に行います。

卵塊の処理は、ふ化した幼虫の捕殺や薬剤による防除に比べ簡単に処理できることから、時期を逃さないように実施します。

ふ化した幼虫は葉裏に群生しており、この時期には群生している周辺に薬剤を散布するか、または、枝を切り取って焼却することが効果的な防除になります(写真-2)。

幼虫が分散し始めたら(写真-3)樹冠全体に薬剤散布をします。

薬剤は、DEP(ディプテレックス)乳剤1000倍液、DEP4%粉剤、MEP(スミチオン)乳剤1000倍液を使用します。

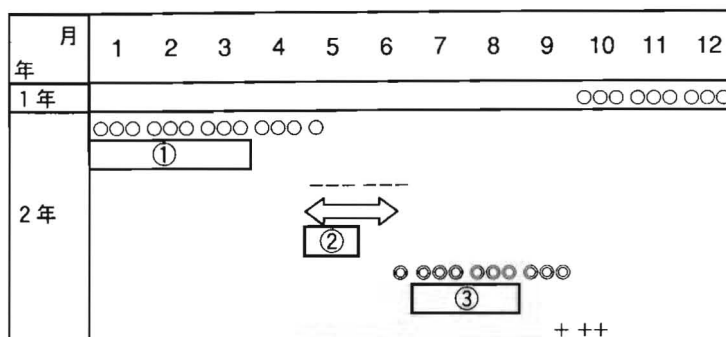


写真-2 分散前の2齢幼虫

クリの結果枝と光条件

クリは、結果する母枝の太さによって、雌花の日当たりの良否によって強く影響を受けます(表)。

一般に孤立樹における1本当たりの収量は、受粉条件がよく、樹勢が衰えなければ、無剪定でも樹冠の拡大に伴い年々増加しますが、これは剪定しなくとも樹冠表面の日当たりが良いため、樹冠表面の枯れこみがなく、樹冠の着果表面積が増加



注) ○卵-幼虫 ◎蛹+成虫 ⇄ 加害時期

① 卵の処分 ② 薬剤散布 ③ 蔕の処分

図-2 クスサンの一生涯と加害・防除の時期



写真-3 分散した3齢幼虫

するためです。しかし、樹齢7~8年を経過すると樹冠内部の光不足による無葉部の増加によって収量は減少します。

孤立木であっても、結果習性を利用しながら、樹冠内下部の光不足を防ぐ整枝、剪定を行うことが望ましいとされています。

迷惑がられるクスサンの防除は、冬季に卵塊を掻き落して処分する方法が確実で容易ですから、特に、昨年発生した木の周囲はクリの木に限らず注意してこの時期に手入れをしてください。

(特産部 小坂)

表 樹冠の高さ別日射量と結実の関係

(農業技術 追録第9号 荒木ら)

樹冠の高さ	日射量	結果母枝数	結果枝数	雌花数	結果母枝当たりの雌花数	早期落果数	果実重
上部(3~4.5m)	81%	62(24.4)	186(29.6)	298(30.6)	4.8	8.7%	15.0g
中部(3~2m)	50	95(37.4)	243(38.7)	377(38.7)	4.0	11.1	14.9
下部(2~0.5m)	35	97(38.2)	198(31.7)	298(30.6)	3.1	16.9	13.5

注) ()内数値は分布割合(%)